

セラミックス岡山

CERAMICS OKAYAMA

2014.9

OKAYAMA ■■■■
 CERAMICS ■■■■
 CENTER ■■■■
 岡山セラミックスセンター

CONTENTS

巻頭言	1
研究紹介	2
「耐火物の機能性添加剤の開発： Al-Zr-C系化合物の合成と酸化特性」	
耐火材料データベースの利用	4
化学組成(2)	
設置機器紹介	6
酸素・窒素分析装置	
行事案内	7
研究発表報告	7
書籍紹介	8
クロム系材料 — 現状と今後 —	

巻頭言



就任ご挨拶

理事長
吉鷹 啓

本年7月に本財団の理事長に就任いたしました。岡山セラミックスセンターは、高温構造材料、特に耐火物を中心とした「耐火物の研究センター」を目指し、産・学・官の連携による共同研究開発をはじめとした新規高温材料の研究開発や測定分析を中心に、国内外との交流や人材育成などの様々な事業を展開することにより、耐火物関連産業の発展に貢献することを目指しております。

さて、昨今の我が国の経済情勢ですが、政府が9月8日に発表した2014年度4～6月期の国内総生産(GDP)改定値は実質で前期比1.8%減(年率7.1%減)と大幅に落ち込みました。消費増税に伴う駆け込み需要と反動減などによるもので、当初の見方より落ち込み幅が広がり、東日本大震災が起きた2011年1～3月期(年率6.9%減)を超える下落となっています。

一方、耐火物と特に関係が深い鉄鋼産業界における2013年の粗鋼生産量は、約1.1億トンとなり、近年は同水準を維持しているものの、各企業におかれては、国際競争力の強化を目指して、更なるコストダウンと技術力の向上を図られている状況と見受けられます。

そのような状況を踏まえ、研究開発部門において今年度から次世代技術の探索研究会を新たに発足させ、参加企業と協力して推進していくことで、より企業ニーズに即した成果を目指すこととしております。これには、近い将来、実用化に直結する成果が出るものと大いに期待しております。また、測定・試験部門においても、測定項目の追加や受託試験を積極的に展開していくことで、皆様のニーズにお答えする体制を整えております。

今後とも、皆様方の御支援と御協力を賜り、耐火物関連産業の発展を共に目指すことで、地域産業のさらなる活性化を図って参りますので、引き続き御指導、御鞭撻をいただきたくお願い申し上げます。